

令和5年度第3回（第36回）中部圏地域づくりしよいやの会

次 第

日 時：令和6年2月29日（木）
午後7時～午後8時30分
場 所：オンライン（ZOOM）

1 開会

2 内容

（1）活動報告

①「在宅療養後方支援病院の立場から

～役割と関係機関との連携等の状況について～

鳥取県立厚生病院 地域連携センター長 竹本 智美 氏

②「在宅支援診療所の立場から～のぐち内科クリニックでの取組み、

関係機関との連携状況など～

のぐち内科クリニック 院長 野口圭太郎 氏

（2）グループワーク（ブレイクアウトルーム使用）

テーマ：

「活動報告を聞いて感じたこと」

（3）グループ発表

3 事務連絡

4 閉会

しよいやの会終了後に、アンケートに御協力ください。今後の運営に活かしてまいりたいと思います。お手持ちの携帯よりQRコードを読み取っていただき、Google フォームでの回答に御協力をお願いいたします。

<アンケート用 QR コード>

<https://forms.gle/ZKy5uwAE7PYFRsDz8>



在宅療養後方支援病院の立場から

～役割と関係機関との連携等の現状について～



鳥取県立厚生病院
地域連携センター

竹本 智美

今日のおはなし

- ❁ 今どうなってるの？
- ❁ 新しく始まった取り組み
- ❁ これからの地域医療



当院の概要 (R4年度)

病床数: 一般病床 300床 感染病床 4床

担当科: 21科

平均在院日数: 12.6日

病床稼働率: 70.4%

新入院患者: 6,008人

退院患者: 6,033人

救急患者数: 14,804人 うち救急搬送 2,192人 (15%)

在宅復帰率: 93.1% 80%以上

紹介率: 100.0% 50%以上

逆紹介率: 110.3% 70%以上

地域医療支援
病院の基準

在宅で療養を支えるために

医療のこと

訪問診療

- ・定期的な診察
- ・診察時の往診
- ・疼痛の管理

6 施設
+ α

生活のこと

訪問看護

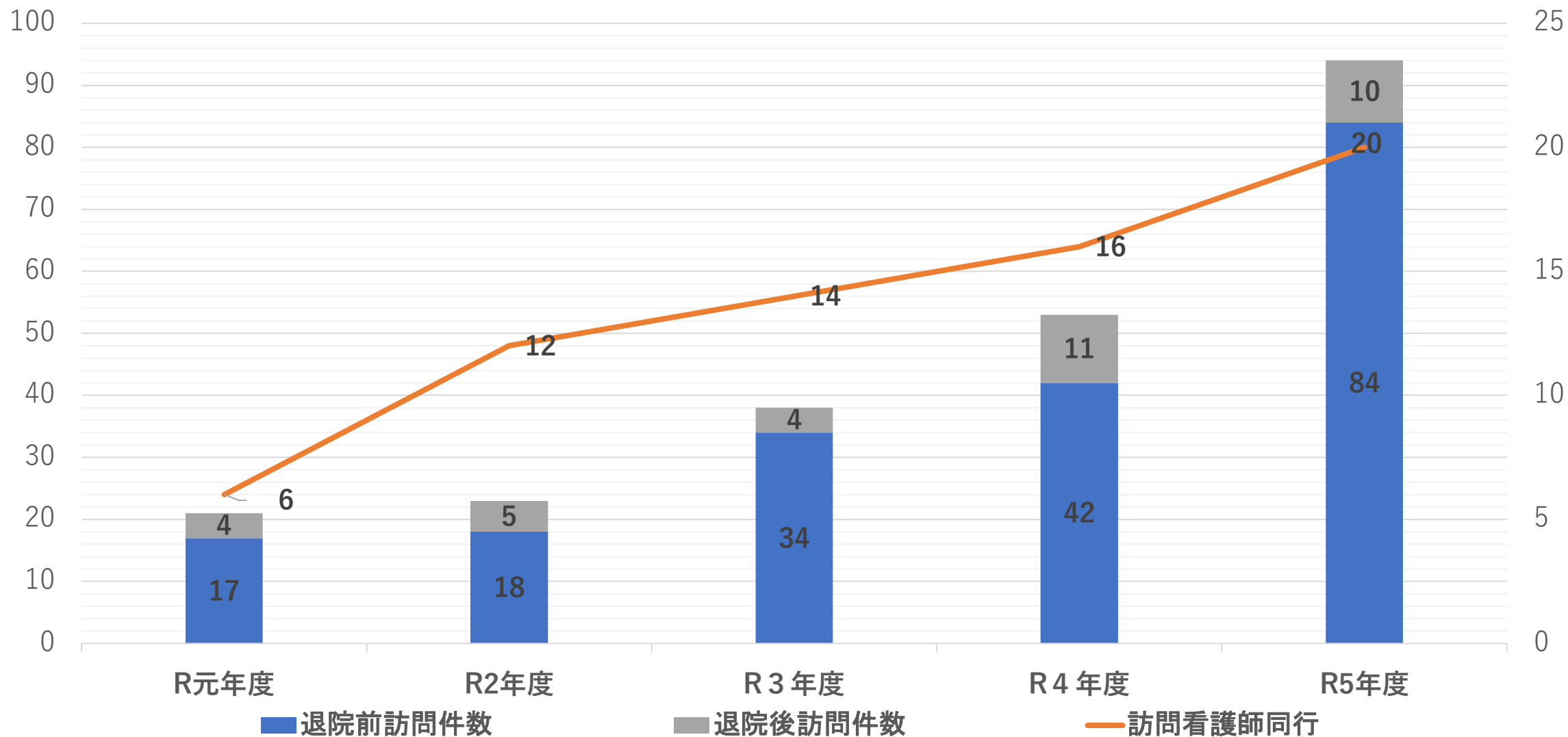
- ・医療処置の管理
- ・ケアの実施
- ・療養上の相談

14 施設

介護保険サービス

- ・地域包括支援センター
- ・訪問介護の利用
- ・デイサービスの利用
- ・福祉用具のレンタル
等

年度別退院前・後訪問・訪問看護師同行訪問件数



在宅療養を取り巻く思い

家族

- ・家に帰らせてあげたい



本人

- ・家に帰りたい



でも・・・

- ・毎日の介護はちょっと
- ・点滴も必要になるし
- ・がんの痛みもあるのに
- ・家で介護できるか不安

でも・・・

- ・迷惑をかけたくない
- ・トイレに行くのがやっとな
- ・家で生活できるか不安

この「でも・・・」にアプローチした新しい取り組み

在宅療養後方支援病院

鳥取県立厚生病院



緊急時は24時間迅速に対応し、必要に応じて入院を受け入れます

安心して在宅医療を受けられる体制

①事前登録

当院に入院を希望している患者を事前に登録

28名

②定期的な情報交換

患者の情報共有

④紹介受診

診療の結果、精密検査や緊急対応が必要な場合は当院に紹介

4施設

かかりつけ医



③体調不良時

訪問診療対応

7名

かかりつけ医
受診



在宅療養中の患者

安定したら
在宅復帰

これからの地域医療

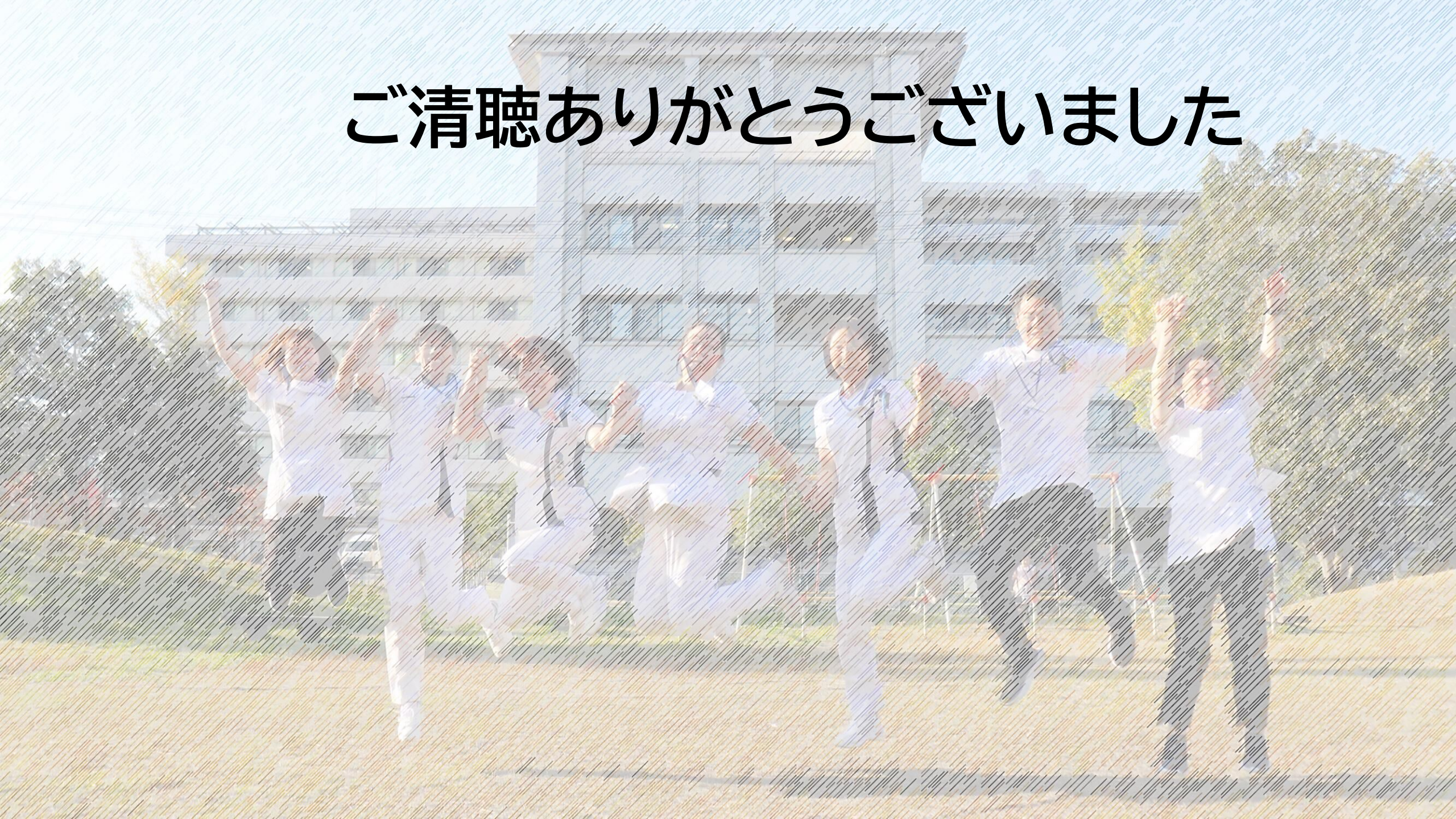
家族の「でも・・・」

本人の「でも・・・」



安心して在宅医療を受けられる体制
(在宅療養後方支援病院)

ご清聴ありがとうございました





第3回 中部圏地域づくりしよいやの会 グループワーク記録

()グループ 参加者()

送付先：湯梨浜町地域包括支援センター FAX 0858-35-5378

《グループワークのテーマ》

○ 「活動報告を聞いて感じたこと」

令和5年度医療介護連携に係るアンケート調査結果について（報告）

令和6年1月1日

倉吉市・三朝町・湯梨浜町・北栄町・琴浦町

倉吉保健所・中部医師会

- 1 調査対象 53機関（居宅介護支援事業所・小規模多機能事業所44か所、地域包括支援センター9か所）
- 2 回答状況 49機関（回収率92.5%）
回答者数 112名（居宅介護事業所・小規模多機能事業所77名、地域包括支援センター担当者35名）
- 3 調査項目
 - (1) 担当ケース数
 - (2) 担当ケースのうち令和5年7月に入院されたケース数および入院時連携シート送付件数
 - (3) 担当ケースのうち令和5年7月に退院したケース数及び医療機関からの引き継ぎ状況等
 - (4) 連携体制で問題と感じた事例や事項等
 - (5) 「手順」に対する意見・要望等
- 4 調査方法
 - (1) 介護支援専門員一人1枚、Google フォームアンケートから調査票へ記入（令和5年7月の1ヶ月の状況）
- 5 調査結果概要（平成27年度・29年度・30年度・令和元年・令和4年・令和5年度調査との比較）
 - (1) 調査回収率は、平成27年度は58%、平成29年度、平成30年度、令和元年度は100%、令和4年度は90.7%、令和5年度は92.5%で、90%以上と高い回収率が維持された。
 - (2) 入院時連携シートの送付率は「介護」「予防」とも年々増加傾向。全体では令和5年度の送付率は84.6%と8割以上で、令和4年度から0.7%増加した。「介護」「予防」の内訳をみると「介護」は89.1%と高い割合を維持しているが、令和4年度から3.9%減少した。「予防」は71.7%と令和4年度から10.9%も大幅に増加した。しかし、「介護」に比べ17.4%も低い。
 - (3) 退院時の連絡の有無（退院調整率）については平成30年度は91.6%、令和元年度は89.0%、令和4年度は89.5%と約9割を維持していたが、令和5年度は85.9%と令和4年度から3.6%微減した。「介護」「予防」の内訳をみると、「介護」は89.9%で令和4年度から4.4%減少した。「予防」は76.7%で令和4年度から、0.7%増加した。しかし、「介護」に比べ13.2%も低い。
 - (4) 連携上の問題点については問題なしが82人（73.2%）、問題ありが30人（26.8%）であった。問題の内容で多いのは「退院直前の連絡で対応に慌てた」であり、具体的には、「退院時カンファレンスが行われなかった。」「病院から連絡なく退院されていた。退院後の調整となった。」といった内容だった。令和4年度と同様の傾向だったが、介護支援専門員と病院との退院時のより丁寧な連携の必要性がみられた。
 - (5) 「手順」に対する意見・要望等については、問題なしが104件（92.9%）、問題ありが8件（7.1%）であった。令和4年度と比較し、問題ありの割合が1割程度ある状況は変わらない。問題ありの内容では、「連携室によって対応が様々である。」等であった。

6 調査結果

(1) 担当ケース数 (単位：件)

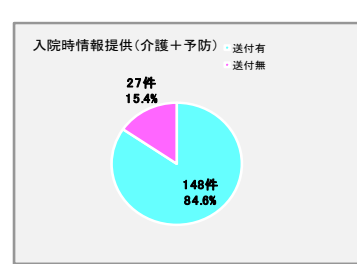
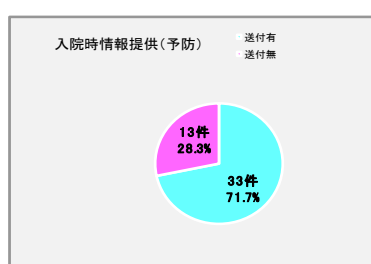
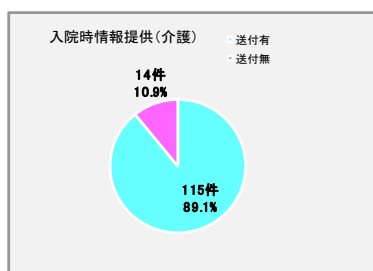
	介護	予防	合計
居宅介護支援事業所	2, 174	336	2, 510
地域包括支援センター	0	931	931
合計	2, 174	1, 267	3, 441

(2) 担当ケースのうち令和5年7月に入院されたケース数および入院時連携シート送付件数

- ・7月に入院されたケースは合計175件で介護が129件、予防が46件であった。
- ・介護支援専門員から病院への入院時連携シート送付率について、全体の送付率は84.6%。内訳は、「介護」が89.1%、「予防」が71.7%であった。
- ・入院時連携シート送付率の年次比較は、平成27年度から年々増加し、令和元年度は下がったが、令和4年度、令和5年度と上がっており、全体的には増加している。
- ・入院時連携シートを送付できなかった主な理由としては、「何度も入院を繰り返しているため」が大半であった。

【入院時連携シート送付件数】

	介護		予防		介護+予防	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
送付あり	115	89.1	33	71.7	148	84.6
送付なし	14	10.9	13	28.3	27	15.4
合計	129	100	46	100	175	100



【入院時連携シート送付件数の年次比較】

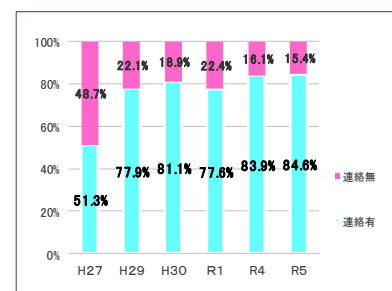
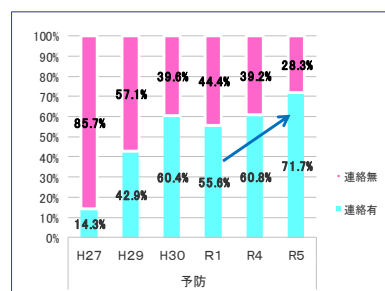
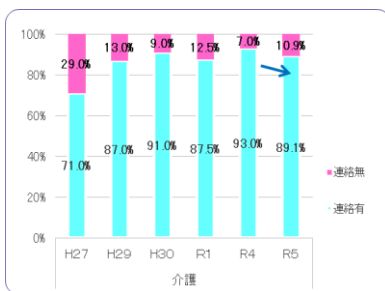
		介護		予防		介護+予防	
		件数	調整率	件数	調整率	件数	調整率
27年度	送付有	37	71.2	4	14.3	41	51.3
	送付無	15	28.8	24	85.7	39	48.7
29年度	送付有	94	87.0	12	42.9	106	77.9
	送付無	14	13.0	16	57.1	30	22.1

30年度	送付有	101	91.0	32	60.4	133	81.1
	送付無	10	9.0	21	39.6	31	18.9
R元年度	送付有	105	87.5	30	55.6	135	77.6
	送付無	15	12.5	24	44.4	39	22.4
R4年度	送付有	120	93.0	31	60.8	151	83.9
	送付無	9	7.0	20	39.2	29	16.1
R5年度	送付有	115	89.1	33	71.7	148	84.6
	送付無	14	10.9	13	28.3	27	15.4

「介護」

「予防」

「介護+予防」

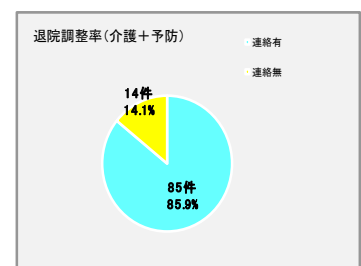
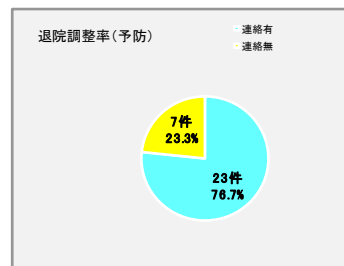
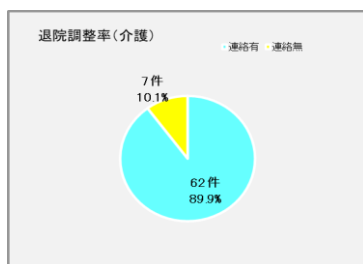


(3) 担当ケースのうち令和5年7月に退院されたケース数及び医療機関からの引き継ぎ状況（退院調整率）

- ・7月に退院されたケースは合計99件、介護が69件、予防が30件であった。
- ・退院調整率は平成30年度から令和4年度にかけて約9割を維持。令和5年度は85.9%と令和4年度から3.6%微減した。内訳は、「介護」が89.9%、「予防」は76.7%であった。

【退院時連絡件数】

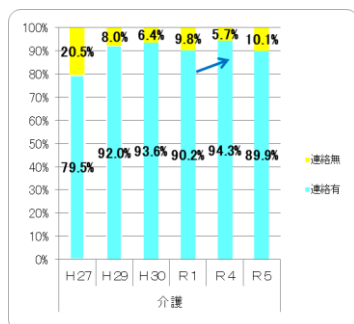
	介護		予防		介護+予防	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
連絡あり	62	89.9	23	76.7	85	85.9
連絡なし	7	10.1	7	23.3	14	14.1
合計	69	100	30	100	99	100



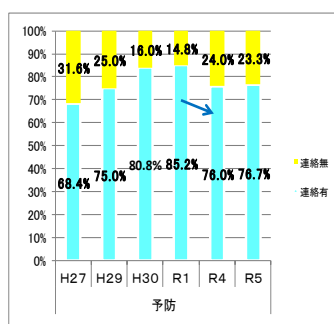
【退院時連絡件数の年次比較】

		介護		予防		介護+予防	
		件数	調整率	件数	調整率	件数	調整率
27年度	連絡有	31	79.5	13	68.4	44	75.9
	連絡無	8	20.5	6	31.6	14	24.1
29年度	連絡有	69	92.0	12	75.0	81	89.0
	連絡無	6	8.0	4	25.0	10	11.0
30年度	連絡有	88	93.6	21	84.0	109	91.6
	連絡無	6	6.4	4	16.0	10	8.4
R元年度	連絡有	74	90.2	23	85.2	97	89.0
	連絡無	8	9.8	4	14.8	12	11.0
R4年度	連絡有	66	94.3	19	76.0	85	89.5
	連絡無	4	5.7	6	24.0	10	10.5
R5年度	連絡有	62	89.9	23	76.7	85	85.9
	連絡無	7	10.1	7	23.3	14	14.1

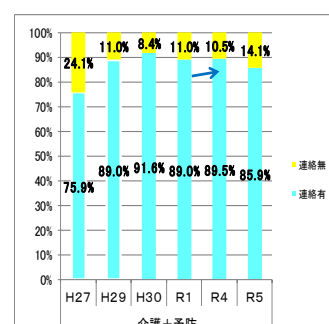
「介護」



「予防」

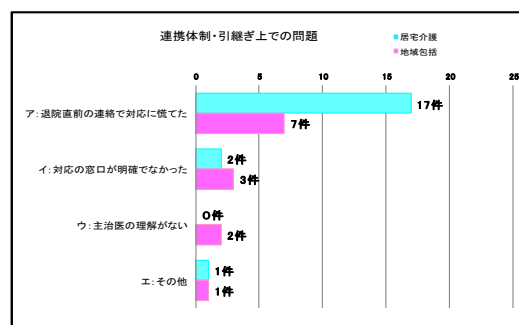
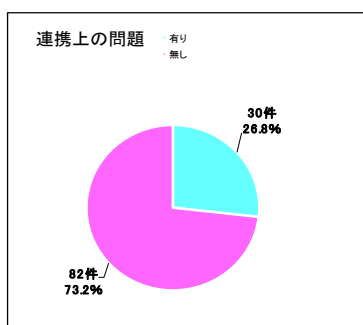


「介護+予防」



(4) 連携上の問題点の有無

- ・連携上の問題点については問題なしが82人(73.2%)、ありが30人(26.8%)であった。
- ・問題の内容で多いのは「退院直前の連絡で対応に慌てた」が多かった。具体的には、「退院時カンファレンスが行われなかった。」「病院から連絡なく退院されていた。退院後の調整となった。」といった内容だった。令和4年度と同様の傾向だった。



(5) 手順についての問題

- ・問題なしが104件(92.9%)、問題ありが8件(7.1%)であった。
- ・令和4年度(問題なしが90件(88.2%)、問題ありが12件(11.8%))と、問題ありの割合が1割程度ある状況は変わらない。
- ・問題ありの内容では、「連携室によって対応が様々である。」等の回答があった。

